

第16回災害廃棄物対策四国ブロック協議会 議事録

日 時：令和3年8月3日（火）13時00分～15時00分

場 所：オンライン開催

議 事：

（1）令和3年度協議会の運営について

① 協議会設置規定について

② 協議会及び幹事会について

（2）令和3年度の協議会調査検討方針

報告事項：

環境省からの報告

1 開会

環境省中国四国地方環境事務所四国事務所 常富所長より開会の挨拶が行われた。

2 あいさつ

（環境省 中国四国地方環境事務所四国事務所 常富所長）

昨年度から、防衛省、境省の連携強化を進めており、今回はオブザーバーとして陸上自衛隊第14旅団よりご参加いただいた。

7月1日からの梅雨前線の停滞による大雨で、中国四国地方にも大きな被害が出た。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。特に今回の大雨で発生した災害廃棄物の処理に当たっては、1日も早い復旧・復興に向けて各自治体及び関係団体の皆様に鋭意ご尽力いただいた。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

いよいよ台風の到来が本格化する季節となり、引き続き皆様と共に環境省でも備えを進めて参りたいと思う。

本年度の協議会については、四国ブロックの災害廃棄物対策、行動計画の改定を予定している。昨年度協議会で取り纏めた改定方針に基づき、近年の災害現場における処理の実態等を踏まえて必要な検討を行い取り纏めたいと思う。特に大規模災害が一度発生すると、自治体内の処理能力を超える程の大量の災害廃棄物が発生し、場合によっては廃棄物処理施設そのものが被災するケースなどがあり、処理の停滞が生じることも考えられる。こうしたことを念頭に置いて、災害廃棄物の円滑な処理のために広域処理への備えをしておくこともますます重要となっている。このため今年度は広域処理に関する調査・検討なども進めたいと考えている。後程この点も含め今年度の調査・検討方針について議論していただきたい。

その他昨年度末にかけて環境省が改訂を行った災害廃棄物に関する各種マニュアル

等の概要についてご報告させていただくと共に、昨年度から環境省において進めている災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク）についての進捗もご紹介させていただく。

本日、より実効性のあるブロック行動計画の改定において、忌憚なくご意見いただければと思う。

（事務局 応用地質）

議事に入る前に配布資料の確認をさせていただく。

（資料確認・省略）

本協議会においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン会議システムを通じて参加していただいている。進行上トラブルが発生する可能性があるが、何卒ご理解、ご協力をお願いしたい。

（オンライン参加者へのお願い事項・省略）

また、出席者を紹介する。

（出席者の紹介・省略）

それでは、議事に移る。ここからの進行は、座長にお願いする。

3 議 事

（座長）

それでは、議事の「（1）令和3年度協議会の運営について」の「①協議会設置規程について」「②協議会及び幹事会について」の説明を事務局からお願いする。

（1）令和3年度協議会の運営について

①協議会設置規程について

②協議会及び幹事会について

議事の「（1）令和3年度協議会の運営について」の「①協議会設置規程について」「②協議会及び幹事会について」について、事務局より資料1・2の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

（事務局 環境省）

（資料1・2説明・省略）

（座長）

事務局から説明をいただいた。これに対してご質問等があればお願いする。

資料1には幹事会についての記載はないということによいか。

(事務局 環境省)

資料 1 の協議会設置規定には幹事会についての記載はない。

(2) 令和 3 年度の協議会調査検討方針

議事の「(2) 令和 3 年度の協議会調査検討方針」について、事務局より資料 3 の説明が行われた。説明ののち、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 応用地質)

(資料 3 説明・省略)

(座長)

事務局から説明をいただいた。これに対してご意見・ご質問等があればお願いします。

(委員)

発災後スムーズに仮置場を開設、運営管理することが重要である。そのため、民間事業者には人員確保、資機調達、搬出車手配、搬出先確保等の協力をしてもらえれば、初動対応を円滑に実施できると考えている。既存の民間事業者との協定を確認したところ、仮置場に関して明文化されていないことが多いが、災害発生時には協力してもらっている事例が多くみられる。産業廃棄物処理施設に対するアンケート項目に、仮置場の運営管理の協力可否や対応した経験の有無等も調査項目に入れて実態を把握し、協定への明文化、仮置場開設・運営管理ができる事業者の裾野を広げる活動に繋げてみてはどうかと考えている。

被災現場では混合廃棄物が発生しているのが実情である。混合廃棄物を迅速に処理することが初動においての課題となる。協定締結先の事業者が混合廃棄物の受け入れができれば、非常に助かると考えられる。そのため、産業廃棄物処理施設に対して、混合廃棄物の受入可否や受入可能量等をアンケート項目に入れていただくと、非常に重要な情報になると考えている。

また、人材育成での大きな課題は、人事異動によって知識や経験が継続しないということである。人材育成に係るアンケート内容に、研修において知識や経験の継続性を維持するための工夫について調査し、優良事例があれば協議会構成員等に共有し、取り入れることで人材育成活動の有効性を高められると考えている。

(事務局 環境省)

民間事業者との協力については、過去の災害時にも産業資源循環協会等と連携して自治体が仮置場を開設している事例もある。協定を締結している自治体や産業資源循環協会等と相談し、アンケート項目にご意見を反映できるよう検討する。

災害時における混合廃棄物の処理先の確保という観点から、調査項目に入れるよう検討する。また、処理困難物の処理先についても調査を進めたいと考えている。

人事異動による知識と経験の継承については課題であると認識しているため、ご意見を反映できるよう検討する。

(国土交通省)

図上訓練の参加対象者をお教えいただきたい。また、昨年度は Web 会議システムで実施したとのことだが、四国地方整備局の防災担当が Web 会議システムの状況を閲覧させてもらえることができるのか教えていただきたい。

(事務局 環境省)

図上訓練について、四国ブロックにおける災害廃棄物処理の広域連携に特化した内容となっており、参加対象者は本協議会の構成員である県や市、産業資源循環協会等となっている。昨年度の図上訓練は四国地方整備局には参加の要請はしておらず、協議会の中で図上訓練の情報共有をさせていただいていた。今年度の図上訓練の内容については、四国地方整備局に参加いただくかどうかという点も含めて、これから具体的に検討していく。

(松山市)

ブロック内の災害廃棄物発生量の情報更新について、「風水害」及び「地震災害」を対象にするとのことであるが、松山市で風水害による災害廃棄物発生量を推計することを検討しているが苦慮している状況にある。本検討で風水害による災害廃棄物発生量を推計する方法を検討していれば教えてほしい。また、推計の際には県や市に作業が発生するか、推計結果は今年度中に整理できるか教えてほしい。

(事務局 環境省)

ブロック行動計画の改定においては、風水害による災害廃棄物発生量の推計は行わず、公表されているデータを整理することで情報を更新することを想定している。そのため、自治体に作業依頼を行うことは考えていない。なお、推計は行わないが想定災害として考えられる風水害や土砂災害などに関しても、広域連携手順等を整理することで対応したい。

(座長)

昨年度の図上訓練において、幹事県であった高知県にご意見を伺いたい。

(高知県)

これまで高知県でも訓練を実施してきているが、昨年度の図上訓練の幹事県を務めたことで県域を越える広域連携について、高知県だけで訓練を行った場合と異なる課題が見つかったと感じている。

(えひめ産業資源循環協会)

仮置場のスムーズな運営に関しては、支援していきたいと考えている。具体的な準備作業を行うため、自治体には仮置場情報の開示をお願いしたい。

混合廃棄物について、産業廃棄物処理業者の許可の範囲内でしか受入れできないため、なるべく混合廃棄物にならない状態にしてほしい。また、資機材調査の結果を自治体に連絡している。

(座長)

過年度に災害廃棄物処理計画改定モデル事業を実施した徳島県にご意見を伺いたい。

(徳島県)

徳島県は災害廃棄物処理計画改定モデル業務の実施内容をふまえて、今年度中に徳島県災害廃棄物処理計画の改定版を作成する。

4 報告事項

環境省からの報告

報告事項の「環境省からの報告」について、事務局より資料4の説明が行われた。

(事務局 環境省)

(資料4説明・省略)

(事務局 応用地質)

この場でご意見はないようだが、何かあれば後日でも構わないので、ご連絡いただきたい。

5 その他

今後の予定について

その他の「今後の予定について」について、事務局より資料2の「令和3年度の協議会等のスケジュール(予定)」の説明が行われた。

(事務局 応用地質)

(資料 2 説明・省略)

6 閉会

(事務局 応用地質)

以上、第 16 回災害廃棄物対策四国ブロック協議会を閉会する。

本日は長時間どうもありがとうございました。

以上